

山口県中央森林組合

会報誌

# フォレスト通信

2023

10

第5号



組合長挨拶	2	総代会での主な質疑応答	6~7
総代会開催状況	3	伐出作業員募集	8
令和4年度 事業報告	3	組合員の皆様へお願い	9
貸借対照表等	4	旭日双光章 受賞	9
令和5年度 事業計画	5	体験教室	9
出資配当金について	6	令和5年度やまぐち森林づくり県民税関連事業について	9
定款及び役員選任規程の一部改正について	6	組合組織の状況等	10

**JForest**

編集・発行／山口県中央森林組合

本所：〒759-1513 山口県山口市阿東徳佐下33番地4 TEL:083-956-0600 FAX:083-957-0259  
山口総合支所：〒753-0211 山口県山口市大内長野1978番地 TEL:083-941-0011(代) FAX:083-941-0040

## ■ 第4回 通常総代会 開催

令和5年5月末日に決算を終え、第4回通常総代会を8月25日、山口市阿東地域交流センターにて開催致しました。

この度の総代会は、来賓の方の御臨席を賜りましたが、新型コロナウイルス拡大防止対策として時間短縮のため、御祝辞は差し控えさせていただいての開催となりました。

総代出席者数は、現在の総代数が193名に対して、本人出席41名、委任出席1名、書面議決112名、合計154名の出席があり、本総代会は過半数以上の出席がありました。



議長には、徳地地区総代の國長廣治氏が満場一致で選任され、第1号議案から第9号議案、付帯決議まで慎重に審議されすべての議案が挙手多数で可決・承認されました。

## ■ 組合長挨拶 (要旨)

令和4年度の我が国の経済は、世界的に流行の続く新型コロナウイルス感染症や、ロシアによるウクライナ侵攻による影響をうけ、石油製品を始め、あらゆる物価の高騰を招き、大変厳しい経済状況となりました。木材産業においても、「ウッドショック」で高騰した木材市況も弱含みで推移するなど、林業の世界においても、大きな影響を受けました。

こうした中、国の林業政策としては、新しい技術を活用して、伐採から再造林・保育に至る、収支のプラス転換を可能とする「新しい林業」の展開や、木材産業の競争力の強化、都市等の建築物における新たな木材需要の獲得などに、取り組む事としており、再造林等により森林の適正な管理を図りながら、森林資源の持続的な利用を一層推進して、引き続き成長産業化に取り組む事により、2050年までに温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させる、カーボンニュートラルに寄与する「グリーン成長」を実現するとしています。

山口県においては、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、森林の吸収源としての役割を最大限発揮させるた

## 第4回山口県中央森林組合通常総代会



め、森林の世代交代を進めながら、森林資源を有効活用していく事が重要である事から、県産木材の供給力強化や、主伐後の再造林による成長の旺盛な若い森林の造成、県産木材の利用促進などの取り組みを一体的に進めるとしています。

こうした状況下、我が組合においては最新の機械や技術の導入にあたり、各種研修に参加し人材育成を行うと共に、労働災害「ゼロ」を目指して、労働安全に努めております。

事業活動においては「やまぐち森林づくり県民税」関連の「公益森林整備事業」として間伐作業を約57ha、繁茂竹林整備を32ha行ないました。また市・民有林等の皆伐・搬出間伐を行ない、用材約5,900m<sup>3</sup>、バイオマス材約1,500m<sup>3</sup>搬出しました。作業道は約7,100m開設しました。また植林作業として、森林整備センター5ha、市有林約26ha、民有林約24haとなりました。

決算は、目標総収益を約7億4千万円で計上していましたが、約7億4千5百万円となりました。税引前当期利益は約7千3百万円となり、配当も2%にする事ができました。ここに組合員の皆様をはじめ、関係各位の皆様のご支援ご協力に感謝申し上げます。



## 総代会開催状況

開催日：令和5年8月25日（金）10時～

通常臨時の別	正組員数	総代定数	総代現在数	総 代 出 席 者 数				総 代 席 率
				本 人	代 理 人	書 面	計	
	8,589人	200人	193人	41名	1名	112名	154名	80%
通 常 事 項 及 び 決 議 事	第1号議案	令和4年度 事業報告書、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表及び附属明細書の承認について (原案) 別冊のとおり						
	第2号議案	令和5年度 事業計画の承認について (原案) 別冊のとおり						
	第3号議案	令和5年度 役員報酬について (原案) (1)理事報酬は総額9,000,000円以内とし、各理事の報酬額及び支給方法については、その範囲内において理事会に一任する。なお、理事は12名です。 (2)監事報酬は総額1,100,000円以内とし、各監事の報酬額及び支給方法については、その範囲内において監事の協議に一任する。なお、監事は3名です。						
	第4号議案	令和5年度における借入金最高限度額の承認について (原案) 組合事業資金200,000,000円とする。 但し、森林組合財務処理基準令に基づき農林水産大臣の指定する貸付金は除く。						
	第5号議案	令和5年度における貸付金の利率並びに1組員に対する貸付金額の決定について (原案) 貸付金の利率を10%以内とし、1組員に対する貸付金の最高限度額を1,000,000円とする。 但し、森林組合財務処理基準令に基づき農林水産大臣の指定する貸付金を除く。						
	第6号議案	令和5年度における余裕金預入先の承認について (原案) 山口銀行、山口県農協、西中国信金、農林中央金庫、ゆうちょ銀行とする。						
	第7号議案	令和5年度における造林補助金取扱手数料及び森林保険取扱手数料率の決定について (原案) 造林補助金の10%以内とする。 (原案) 支払保険金額の10%以内とする。ただし、算出した手数料の額が損害調査等の必要経費等を超える場合は実費とする。						
	第8号議案	出資配当金を出資金に充当することの承認について (原案) 出資配当預り金が1口500円に達したものを、出資金に振り替える。						
	第9号議案	山口県中央森林組合定款及び附属書森林組合役員選任規程の一部改正について (原案) 別冊のとおり						
	付帯決議	総代会の議決事項中、行政庁に提出する書類が当該行政庁の指示に基づき補正変更を要する場合は、議決の主旨に反しない範囲において字句の修正等の補正変更を理事会に一任する。						



## 令和4年度 事業報告

### 個別事業の概要

#### ① 指導部門

- ・ 広報誌の発行、林業機関誌の配布等による、組員への情報提供を行いました。
- ・ 林業研究グループの事務を受託し、各団体の活動に協力しました。
- ・ 林業振興会と協力し、森林体験学習や森林ふれあいイベント等を行いました。
- ・ 安全衛生委員会を行い、労働安全対策に努めました。
- ・ 防護着等の安全装備品の導入に努め、災害防止に向け取り組みました。

#### ② 加工部門

- ・ 質挽や特殊寸法の注文、チップの乾燥等を中心に事業を行いました。

#### ③ 販売部門

- ・ 出材は搬出間伐を中心に行いましたが、買取林産での労務の確保が出来ず、計画を達することができませんでした。

#### ④ 森林整備部門

- ・ 保育関係の森林整備事業が減少しましたが、森林整備事業、利用事業ともに事業確保に努めた結果、森林整備部門の当初計画を上回る事が出来ました。

## 貸借対照表

令和5年5月31日現在 (単位:円)

科目	合計	科目	合計
<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
<b>流動資産</b>		<b>流動負債</b>	
1.現金	209,371	1.受託販売預り金	0
2.預金	861,826,180	2.買掛金	835,874
3.受取手形	0	3.未払金	73,733,448
4.売掛金	960,382	4.納税充当金	25,617,250
5.未収金	48,301,223	5.賞与引当金	10,401,671
6.たな卸資産	3,376,007	6.前受金	0
7.立替金	13,105,133	7.預り金	6,690,136
8.前払費用	71,821	8.仮受金	6,134,050
9.仮払金	14,601,637	9.雑負債	2,255,099
10.県森連出資予納金	6,371		
<b>流動資産合計</b>	<b>942,458,125</b>	<b>流動負債合計</b>	<b>125,667,528</b>
<b>固定資産：有形固定資産</b>		<b>固定負債</b>	
1.建物	46,165,250	1.長期借入金	0
2.建物付属設備	346,876	2.退職給付引当金	180,719,200
3.構築物	201,276	3.役員退任慰労引当金	4,792,277
4.機械装置	14,106,892	<b>固定負債合計</b>	<b>185,511,477</b>
5.車両運搬具	8,148,078	<b>負債合計</b>	<b>311,179,005</b>
6.工器具備品	3,371,185		
7.土地	33,056,206	<b>純資産の部</b>	<b>合計</b>
8.森林	15,842,452	<b>組員資本金</b>	
<b>有形固定資産合計</b>	<b>121,238,215</b>	1.出資金	258,951,500
<b>固定資産：無形固定資産</b>		2.利益剰余金	
1.電話加入権	309,612	法定準備金	141,220,000
2.パソコンソフト	773,334	その他利益剰余金	
3.その他の雑資産	32,072,155	任意積立金	320,367,308
<b>無形固定資産合計</b>	<b>33,155,101</b>	当期末処分剰余金	
<b>固定資産：外部出資</b>		当期剰余金	49,211,094
1.系統出資	84,630,000	前期繰越剰余金	56,903,919
2.系統外出資	1,794,000	3.資本準備金	45,442,615
<b>外部出資合計</b>	<b>86,424,000</b>	<b>組員資本合計</b>	<b>872,096,436</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>240,817,316</b>	<b>純資産合計</b>	<b>872,096,436</b>
<b>資産合計</b>	<b>1,183,275,441</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>1,183,275,441</b>

## 損益計算書

令和4年6月1日から令和5年5月31日まで

(単位:円)

科目	金額
<b>I 事業総損益</b>	
1.事業総収益	745,535,277
2.事業総費用	495,886,016
事業総利益	249,649,261
<b>II 事業損益</b>	
事業管理費計	181,587,367
事業利益	68,061,894
<b>III 経常損益</b>	
1.事業外収益	5,312,182
2.事業外費用	162,982
事業外損益	5,149,200
経常利益	73,211,094
<b>IV 特別損益</b>	
1.特別利益	3,006,663
2.特別損失	3,006,663
特別損益	0
税引前当期純利益	73,211,094
法人税、住民税及び事業税	24,000,000
当期剰余金	49,211,094
前期繰越剰余金	56,903,919
当期末処分剰余金	106,115,013

## 令和4年度 剰余金処分案

(単位:円)

科目	金額
<b>I 当期末処分剰余金</b>	<b>106,115,013</b>
<b>II 剰余金処分額</b>	
1.法定準備金	10,000,000
2.任意積立金	40,000,000
(内任意積立金)	(30,000,000)
(内徳地支所施設整備積立金)	(10,000,000)
3.出資配当金	5,179,030
計	55,179,030
<b>III 次期繰越剰余金</b>	<b>50,935,983</b>

脚注:1 次期繰越剰余金のうち指導、教育及び情報提供の事業資金は、2,500,000円である。

2 任意積立金のうち目的積立金は、次のとおりである。

種類	施設更新・維持等積立金
目的	徳地支所施設整備等に要する費用に充当するため。
現在積立額	30,000,000円
積立目標額	40,000,000円

種類	施設更新・維持等積立金
目的	加工施設活用整備等に要する費用に充当するため。
現在積立額	24,800,000円
積立目標額	24,800,000円

## 組員員の状況

令和5年5月31日現在

資格区分	人数
正組員	8,589人
准組員	102人
合計	8,691人

# → → → → → 令和5年度 事業計画 → → → → →

## 総括

2019年12月に中国において、初めて報告された新型コロナウイルス感染症は、今もなお流行が続いています。またロシアによるウクライナ侵攻も続いており、エネルギー分野を初めとする、あらゆる物価高に、景気の先行きに不安がましてあります。

こうした状況下、林業においては、森林資源の循環利用に向けて、伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換に向けた、新しい林業に取り組むため、情報通信技術や地理空間情報を利用し、森林施業の効率化や、省力化を行う「スマート林業」を推進していく必要があります。

また2019年から全国の市町村で譲与が開始された、森林環境譲与税を活用し、森林整備人材育成・確保、木材利用・普及啓発を行ってまいります。

我が組合としては、国・県・市や、やまぐち農林振興公社・森林整備センターからの森林整備や植林、皆伐や搬出間伐を行う事はもとより、組合員のための事業の遂行を妨げないように、事業を実施してまいります。

今年度も掲げた数値目標の達成に向けて、役職員一同、全力で事業の推進に努めてまいります。

### 指導事業

- 森林組合広報誌・ホームページ等を活用し、組合活動の情報発信を行うと共に、組合員ニーズの把握に努め、サービス向上に取り組みます。
- 林業従事者の確保、定着のために待遇等の改善を進め、施業技術、生産性の向上に努めます。
- 安全衛生活動を推進し労働災害減少に努めます。
- 林業振興会や体験学習等の活動に協力し、林業の普及に努めます。

### 販売事業

- 協力事業体との連携及び主伐班の育成に取り組み、計画的な用材、バイオマス材の生産拡大に努め、森林資源の更新促進に向け取り組みます。

### 加工事業

- チップの乾燥を中心に事業を行います。

### 森林整備部門

- 伐採跡地の再造林及び保育事業に積極的に取り組み、多面的機能が発揮できる森林づくりに取り組みます。
- 搬出間伐事業を推進し、そのために必要な作業道の開設・補修も併せて取り組みます。
- 公的機関（公社・森林研究整備機構）等の事業受注を推進します。
- 森林経営管理制度は自治体と連携し、事業推進に取り組みます。
- 環境整備事業の事業量の確保に取り組みます。
- ICT技術の導入等を行い、スマート林業の推進に取り組みます。

## 令和5年度 損益計画

(単位：円)

科 目	計	科 目	計
I 事業総損益		IV 特別損益	0
1. 事業総収益	719,500,000	税引前当期利益	7,200,000
2. 事業総費用	521,200,000	法人税、住民税及び事業税	1,980,000
事業総利益	198,300,000	当期剰余金	5,220,000
II 事業管理費	193,000,000	前期繰越剰余金	50,936,000
事業利益	5,300,000	当期末処分剰余金	56,156,000
III 事業外損益	1,900,000		
経常利益	7,200,000		

## 第8号議案 出資配当金を出資金に充当することの承認について

(原案) 出資配当預り金が1口500円に達したものを、出資金に振り替える

### 議決内容

今年度も剰余金処分案で組合員の皆様に配当を行う議決を行いました。また、本議案では配当金を出資金に充当することを承認していただき、出資配当預り金が1口500円に達したものを出資金に振り替えることとしました。

つきましては、今回、組合員の皆様に、出資配当並びに充当金について書面を同封していますので、内容についてご確認をお願いします。

## 第9号議案 山口県中央森林組合定款及び附属書森林組合役員選任規程の一部改正について

(1) 山口県中央森林組合定款の一部改正について

### 主な改正内容

- 生雲支所閉鎖に伴い、生雲支所に関する従たる事務所の記載を削除しました。
- 後継者組合員の相続時加入についての規定が新設されました。
- これまでの改正の反映漏れ及び記載漏れ等を修正しました。

(2) 附属書森林組合役員選任規程の一部改正について

### 主な改正内容

- 総代会資料では理事及び監事の区分に応じた記載事項とすることが明示されました。

## 総代会での主な質疑応答

### Q&A

Q.1

事業収益が下がっている。原因は何か。今後も続くのか。

A.1

昨年からの事業収益減少の大きな理由は、国の機関からの事業が大きく下がったことが一番の原因。国の機関は市町村等とは違い県内全域でその予算を使うため計画が読みにくい。ただ、森林整備を目的として活動されているので、今後事業が減少していくということはないと思われる。

Q.2

販売事業は労務がとれなかったとの説明だが、販売事業に力を入れなければいけないのではないか。また加工事業は大手に比べると負けてしまうとのことだが、そのようなことで良いのか。

A.2

現在伐採班は搬出間伐で手がいっぱい、主伐は協力事業体の力を借りて行っている状態である。その協力事業体も手が回らない状況だった。買取も価格面で他社に勝てず買うことが出来なかった。ここ数年主伐と地拵え・植付を一体として行いう貫施業という事業がある。これは森林整備部門へ計上されているため、主伐は行っているが販売事業の数字は上がらない。販売事業の強化は必要だと思っており、主伐班の育成、協力事業体の確保等進めていきたい。加工事業については、事業の拡大には施設の整備・維持に費用がかかる。現状の設備で組合員からの要望に対応可能な範囲内で事業をしたいと考えている。

Q.3

費用は過去最小限になっている。費用を減らせばよいということでもない。原因は何か。

A.3

費用の減少については、地区外での仕事が少なかったため、費用が下がった。人件費を下げれば費用は下がるが、人材不足という現状がある今、人材確保するためにも人件費を下げようとは考えていない。

Q.4

組合員も高齢化していき、若い人は山に興味がない。管内で林業振興会という活動しているのは阿東地区だけではないのか。林業、山に関心を持って次の世代に引き継いでいくためにも、他地区でも林業振興会のような組合のバックアップをするような組織を作ることに力を入れていく必要があるのではないかと。

A.4

徳地林業振興会も休会になったが、徳地地区小学校2校の林業体験学習等に参加しており、次世代にも林業に関心を持ってもらいたいとは考えている。組合の主催ではないが、山口市、防府市では伐採後の植樹体験、木工体験等をしている。そのような現場の手助けをしていきたいと考えている。

Q.5

令和5年度の計画では、収益は前年度と比べると下がっており、費用は増えている。先ほど事業量は減らないと答えたが、計画の段階で減っている。組合が縮小再生産に向かってはいけない。要因は何か。

A.5

事業計画はかなり慎重な見方をして数字をあげている。しかし現在、山口市阿東や徳地では林地伐採が進んでおり、それに伴う、再造林、下刈等の保育を行う事になるため事業量が減少していく事はないと思う。また、最近ではSDGsで持続可能な社会の構築が叫ばれている。森林を育てるということは、木の持つ大きな役割、空気中の二酸化炭素を吸収するという役割を担っている。そのような面からも組合の森林整備を行う仕事というものは増やしていかなければいけないと思っている。

Q.6

木材価格は低迷しているのに、住宅価格は坪100万円といわれている。住宅価格が上がっている状態で、木材・林業の現場である組合として参入が出来るのであれば食い込んで欲しい。

A.6

住宅を建てる建築費の木材の占める割合は10%から多くて20%である。近年住宅の高機能化が進んでおり、家を建てる素材より、設備機器や建材に比重がおかれている。しかし、SDGs等から木材利用が進められており、消費者の意向も変わってくることを希望している。国産木材の使用率を上げ、そこに地域材が活用できれば林家の皆さんに還元が出来る部分が増えると思う。森林組合のできることは、行政への提案と、森林作業従事者の確保育成が不可欠だと思う。その確保が難しい状況にあるので、従業員が安心して働くために組合が健全経営を続けることが第一で、林業を魅力のある仕事にし林業従業者を増やしていけるよう取り組んでいきたい。

Q.7

衣食住の生命産業である林業の経営規模を拡大し、国産木材自給率の向上や若い人の雇用を作るには費用を拡大することが必要と思う。現状維持も大事だが、境界明確化等の新しい法律を作るなど林業がしやすい環境を作ることに、国に働きかける等してもらいたい。組合としてどう考えているか。

A.7

組合で民有林の施業を進める際にも、境界が不明で足止めに合うことがある。国にもこの問題の解決に動いてもらいたいと思っている。法律の整備等の流れが出来れば組合として賛同していきたいと思う。

Q.8

山の所有者が高齢化し、境界についても情報が少なくなっている。市のHPを見ても林業関係へアクセスするところがなく、力を入れていないのが分かる。行政に働きかけをしてほしい。また島根県の森林組合では組合自身で境界の調査活動をしている。そのような活動が必要ではないのか。

A.8

境界明確化が問題となっており、所有者が境界が分からないというのが現状である。山口市は、地図上で境界を設定しておりそれを地籍につなげてほしいと要望している。島根県の森林組合には地籍課がある組合もある。今後参考にしていきたいと考えている。

本総代会では、様々な質疑を頂きました。今後の組合経営に活かしてまいります。ご多用な中、総代会にご出席いただいた総代の皆様、誠にありがとうございました。

## 伐出作業員募集

森林組合では、山の立木を伐採し搬出する（伐出）現場技術者を募集しています！

立木の伐出とは？（例：搬出間伐）



立木の伐採

山の立木を、チェンソーを使い伐採します。



木寄せ（集材）

伐した木にロープを掛け、作業道の近くまでウインチで引き寄せます。



造材・玉切り

集めた木の枝を払い、必要な長さに切り丸太にします。（高性能林業機械を使用）

立木の伐出は、大きくて重い木を伐採し運び出します。そしてその作業を行うのは、傾斜があり、障害物が多い山の中です。はじめは山を歩くことさえ大変ですが、それを乗り越え山での仕事ができるようになれば、他では味わえない達成感がある仕事ではないかと思えます。



車両運搬

造材した木を、山の中からトラックの入る山の麓まで運搬車両を使い運び出します。



輸送

麓まで運び出した丸太を大型トラックなどで市場まで運びます。

### 伐出作業に必要な特別教育等

- ・伐木等特別教育（チェンソー）
- ・玉掛技能講習
- ・簡易架線集材装置等特別教育
- ・小型移動式クレーン技能講習
- ・走行集材機械特別教育
- ・不整地運搬車運転技能講習
- ・荷役運搬機械等はい作業安全教育
- ・車両系建設機械技能講習 など

林業の機械を使用するには様々な免許等が必要ですが、免許等は就業後に研修制度を使い取得できますので、経験のない方でも大丈夫です。

### 山の仕事をすること

現在SDGsなどの取り組みもあり、社会全体で木材の使用増加に向け動き始めているところですが、山から木を出す人がいなければ私たちの身の回りで木を使うことは出来ません。

また木を使うということは、木が育つ間に吸収した二酸化炭素中の炭素を街の中に固定し、空気中に放出しないという、環境問題に貢献する重要な効果があります。そして伐採後の山が適切に管理されていれば、その山で再び空気中の二酸化炭素が吸収されていくのです。木を切り、木材を使い、山を適切に管理していくことは、今後の持続可能な社会には必要不可欠なことではないかと思えます。



森林組合は組合員の皆様の山林を整備していくことが第一の目的ですが、その仕事をすることで地域にもそして地球環境にも貢献できる仕事だと思います。興味のある方はお気軽にお声掛け下さい。

また、重機等を使用しない保育作業等中心の現場技術者も募集していますので、林業をお考えの方はぜひご相談ください。

（組合 HP お問い合わせ QR コード）



## 組合員の皆様へお願い

### 名義や住所変更等をお願いします。

相続等により、組合員名義や住所事項が生じた場合は届出が必要になりますので、該当される際は早急に手続きをお願いします。なお、手続きは当組合に直接ご連絡いただくか、組合ホームページでも確認できますのでご利用ください。

(組合HP組合員手続きQRコード)



## 旭日双光章 受賞

令和5年春の叙勲にて、当組合の戸田岸巖組合長が旭日双光章を受賞されました。森林組合及び森林組合連合会の理事、山口県林業士会会長として永きにわたり林業に尽力され、地域林業の振興に努めてこられました。その功績が認められ今回の受賞となりました。



## 体験教室

### 防府市

R4年11月・R5年2月

防府市では、定期的に市有林の伐採を行い、地域の子供たちに対し、伐採現場・林業機械の見学や苗木の植付などの体験会を実施しています。山林で直接、林業機械の迫力ある作業を見たり、植林体験で自然に触れることは、市街地で暮らす子供たちにとってとても良い経験になると思います。林業は山の中での作業なので、普段の生活の中で目につくことはほとんどありません。このようなイベントで林業に触れてもらい、林業の理解促進や普及に繋がってくれればと思います。



伐採現場の見学



林業機械の展示・見学



苗木の植付体験

### 森林体験学習・木工体験教室

本所・山口総合支所にて、子供たちを対象にした森林体験学習や木工教室を行いました。阿東地区では阿東林業振興会の方々が講師となり小学校の森林体験学習を指導され、ケガ無く体験学習を行う事が出来ました。そのほかに椎茸菌打ちやこけ玉づくり体験、かんなくずカーネーション作りなども行いました。



木工体験



森林観察



間伐体験

## 令和5年度やまぐち森林づくり県民税関連事業について

### 森林機能回復事業

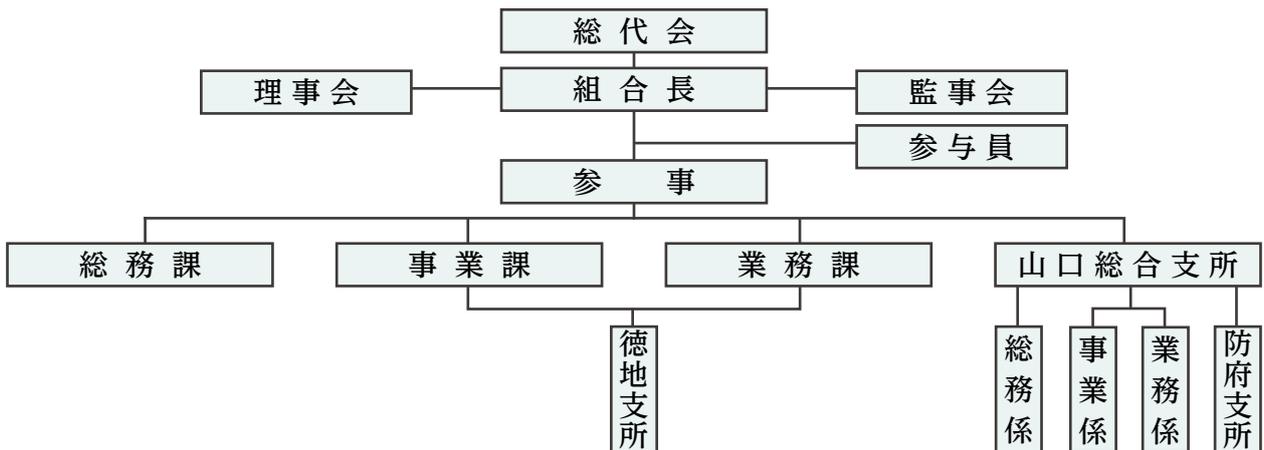
当組合では、やまぐち森林づくり県民税関連事業として「森林機能回復事業」の推進を行っています。この事業は、長期間放置された荒廃森林を強度に間伐し、水源かん養や、山地災害防止等森林の持つ多面的機能の回復を図ることを目的とした事業です。

- ◇対象森林・私有林・36年生以上のスギ・ヒノキ人工林
- ・長期間放置されるなど機能低下の著しい森林
- ・1箇所当たり0.1ha以上の森林

- ◇事業内容：強度間伐40%～60%（現況調査によって間伐率を決定）
- ◇負担金：なし ◇20年間の協定を締結（施業完了後5年以内の皆伐及び森林以外への転用は補助金全額返還）

※これまで手を入れてこなかった森林を、負担金無しで整備する良い機会です。対象の森林をお持ちの方は、事業の活用をご検討ください。詳細については森林組合にお問い合わせください。

### 組織機構図



### 組織体制【R5.9.1】

管轄	本所				山口総合支所			
参事	倉木智行							
部署	総務課	事業課	業務課	徳地支所	総務係	事業係	業務係	防府支所
課長	倉木智行(兼)	村田整昭	中嶋宏茂		益田哲憲(総合支所長)			
支所長		小藤靖臣		今田孝之(支所長)				益田哲憲(兼)
係長			竹谷徳和		牛見弥生	清光 太	村田賢次	川上慎治(兼)
						川上慎治		清光 太(兼)
						森川桂介		牛見弥生(兼)
主任		山本裕昭	藤田 啓	石田秀樹				
技師	藤野勇輝	勝間三冬(兼)	勝間三冬		河本公美			
嘱託	藏本八重子		高岡賢治	渡辺浩信		渡辺浩信(兼)	木原憲徳	木原憲徳(兼)
臨時								

【配属人数】常勤職員 本所：11名 山口総合支所：8名 徳地支所：3名

### 木材市況 山口共販所

山口県森林組合連合会山口共販所における木材価格をお知らせします。

山口共販所 第982回 令和5年9月11日 速報

1立方 (m) 当たり (単位:円)

樹種	長さ	径級	中値
杉	4m	14~16	13,000
		18~22	14,000
		24~28	13,000
		30上	12,000
	3m	14~16	15,000
		18~22	15,000
24上		13,000	
桧	4m	14~16	19,000
		18~22	19,000
		24~28	19,000
		30上	-
	3m	14~18	19,000
		20~22	18,000
		24上	19,000

### 人事について

**退職** (5月31日付)

山下悦子 山見一郎 白松輝男

3名の方には長期にわたり組合業務に御尽力いただきました。長い間、ご苦勞様でした。

#### お知らせ

#### 生雲支所閉鎖について

令和5年9月末で生雲支所を閉鎖致しました。今後、事業のご相談等は本所にて対応いたしますので、お気軽にご相談ください。

#### 防府支所移転について

当組合の防府支所が移転をしました。もともとJA防府とくぢ統括本部敷地内の建物に入りましたが、同じ敷地内の別の建物に移転いたしました。住所や電話番号等の変更はありません。